

"ATSUTA NO OKAME" AND KYŌKA
BY JYUPPENSHA IKKU
LATE EDO PERIOD



RATTAN TEA BOX



TOWER SHAPED INCENSE CONTAINER
MINO WARE, SHINO TYPE
MOMOYAMA PERIOD

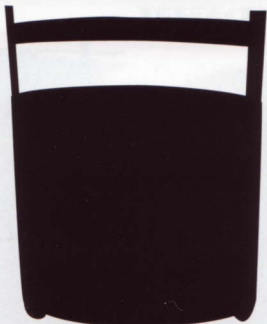


TEABOWL
RAKU WARE, KURORAKU TYPE
KNOWN AS "ŌWARE"
JYŌKEI, EARLY EDO PERIOD



BOWL FOR THE DEBRIS
RAKU WARE ICHI'NYŪ
FROM EARLY TO MIDDLE EDO PERIOD

BUCKET NAGOSHI WARE
TAISHO PERIOD



INCENSE CONTAINER WITH DOG SHAPED KNOB IN UNDERGLAZE BLUE
KOSOMETSUKE TYPE, KNOWN AS "INU", LATER MING DYNASTY



**TREASURE BALL SHAPED INCENSE CONTAINER
IN UNDERGLAZE BLUE**
GOSUDE TYPE, LATER MING DYNASTY



TEA SCOOP
KISYUSO, EARLY EDO PERIOD



BAMBOO FLOWER VASE
ICHIJYU-GIRI TYPE
RIKYŪ, MOMOYAMA PERIOD



NOH COSTUME
ATSUITA WEAVE
LATE EDO PERIOD



LIGHT CONTAINER
RAKU WARE, AKARAKU TYPE,
KNOWN AS "KOMA NO TSUME"
SŌNYŪ, MIDDLE EDO PERIOD



WATER CONTAINER, RAKU WARE, AKARAKU TYPE, KNOWN AS "KOKEZARU"
ROKKANSAI SŌAN, MIDDLE EDO PERIOD



ASH CONTAINER
TAMANO WARE, KICHIBEI, MEIJI PERIOD



LILY SHAPED DISH
RAKU WARE, AKARAKU TYPE, SA'NYŪ, MIDDLE EDO PERIOD



TEA CONTAINER
ICHIE HŌZŌ, LATE EDO PERIOD

The tea utensils of merchants

from the Tōmatsu collection of Nagoya City Museum

商家の茶道具

～名古屋市博物館所蔵「東松コレクション」から～

土曜(11月22日を除く)、日曜、祝日(11月23,24日)休館
10:00 A.M.～1:00 P.M. 2:00 P.M.～4:30 P.M.(入館は4:00 P.M.まで)
入館料500円

主催:齋田記念館 名古屋市博物館

名古屋は東西文化の交流地であり、芸どころ、茶どころとしても知られています。江戸時代に名古屋城下に隣接する広井村において油屋を営んだ東松家は、明治期には個人銀行を業とし、多くの茶道具を所蔵しました。また、当時の住宅は重要文化財として明治村に保存されています。

尾張では、名古屋開府以前より織田家を中心に茶湯が行われていました。名古屋城築城後は、武家茶に加えて、富裕な商人たちによる町方の茶も発展をみせます。明治維新後の衰退期にも、名古屋においては茶湯は盛んでした。関東大震災後に名古屋に疎開した益田鈍翁は、同地の茶人たちとの親交を深め、触発された若手数寄者、茶匠たちが活躍します。また、現在抹茶の生産量日本一を誇るのは愛知県西尾市です。古来より政治経済の要衝であった名古屋は、このように茶道史上においても、常に重要な地域となっています。

東京での初公開となる本展では、利休の竹花入など、名古屋市博物館所蔵の東松家旧蔵茶道具の優品を展示し、近代尾張の茶湯の姿をご覧頂きます。2010年は名古屋開府400年にあたり、さらに本年は奇しくも、名古屋の代表的近代数寄者である森川如春庵が大々的に紹介されたこともあり、名古屋の地とお茶に注目が集まっています。本展が名古屋の茶湯を理解する一助となりますよう祈念いたします。



茶入 銘「吉野」 名古屋市博物館蔵



藤組茶箱 名古屋市博物館蔵



熱田お龜の図并狂歌
十返舎一九狂歌
不二庵宗猷筆写
名古屋市博物館蔵



東松家住宅<<重要文化財>>博物館明治村



茶杓 銘「除夜」 藤村庸軒作
名古屋市博物館蔵

一重切花入 千利休作
名古屋市博物館蔵

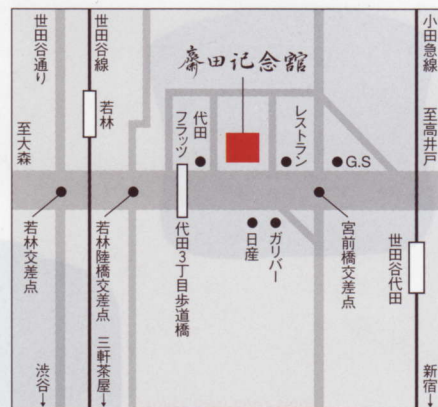


齋田記念館は、財団法人齋田茶文化振興財団の活動趣旨に基づき、茶文化に関する調査研究、普及啓発活動を積極的に展開するために開館しました。

財団所蔵の齋田家文人の書籍・典籍・絵画、茶製造流通に関する古文書・民具、茶書等を保管、年間1～2回の展覧会を開催、研究紀要の編集発行等の活動をしています。



齋田記念館



東京都世田谷区代田3-23-35 ☎03-3414-1006
小田急線・世田谷代田駅南口下車徒歩7分
東急世田谷線・若林駅下車徒歩10分